2026 AUTUMN ！

茨城県立太田第一高等学校野球部　8

○ 令和８年度秋季県北地区シード権決定戦1/2・・９月

９月６日、ひたちなか市民球場において県北地区シード権決定戦の準決勝が行われました。
対戦校は明秀日立です。すでに出場が確定している県大会でのシード権に繋がる試合です。

【準決勝】	太田一高	０	０	０	０	１	０	１	2
	明秀日立	０	０	１	４	０	１	０	３×	9

（８回コールド）

先攻は太田一高。１アウト後、早速チャンスが来ました。２番柏がライト前に上手く合わせてクリーンヒットを放つと、続く３番竹林も鋭くセンター前に弾き返し、１アウト１・２塁。ここで４番砂川は３塁線抜くような強烈な当たりを飛ばしますが、相手３塁手の好プレーに阻まれゲッツー。残念ながら先制点を逃しました。






これに対し太田一高の先発柏は、その裏の相手攻撃を、緩急をつけた持ち前の投球で三者凡退に討ち取ります。しかし３回裏、先頭打者に左中間を深々と抜かれ、俊足を駆使されランニングHRとなり、１点先制されます。さらに４回には、４本の長短打を打たれて４点献上し０−５。














４回終了で０−４。ここから如何に粘り強く戦えるか。県大会に向けての最高の実践練習です。太田一高の打線爆発の口火を誰が切るか！

2026 AUTUMN ！

茨城県立太田第一高等学校野球部　9

○ 令和８年度秋季県北地区シード権決定戦2/2・・・９月

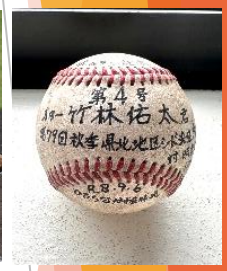
反撃したい太田一は、５回表に打線に火がつきます。まず先頭の５番菊池がレフト前にシャープに弾き返し突破口を開きます。続く６番綿引も鋭くセンター前に運び、さらに７番佐藤も同じくセンターへクリーンヒットの３連打で０アウト満塁のチャンス。ここで打席には、前の打席でライト前ヒットを放っている８番柳田紘が、期待に応えてレフトへ会心のタイムリーヒット。４連打で１点を返します。1−5。






相手打線に６回に１点を追加され１−6で迎えた８回表、２アウトから３番竹林が、打った瞬間にそれとわかるレフトスタンドへソロHRを叩き込みます。2−6。



しかし、強力な相手打線を止められず、その裏３点を奪われたところで2−9（８回コールド）残念ながら決勝へは進めませんでした。










県大会でのシード権獲得とはなりませんでしたが、大会前に貴重な試合をすることが出来ました。9/19から始まる県大会に向けて、弱点をチェックし、プレーの精度やチーム力を高め、出来る限りチームビルディングして県大会に臨みます。まずは県大会ベスト８を目指します！

太田一高　2−9　明秀日立

